

## 小箱展開図作成 Ver3.6 取扱説明書

この度は、フリーウェアソフト「小箱展開図作成 Ver3.6」をダウンロードして頂き、ありがとうございます。

このソフトは、Windows10/11 でご使用ください。

A4 サイズの厚紙(ハガキの厚さ)に印刷できるカラープリンターが必要です。

このソフトは、自由な小箱のサイズで(展開図の最大サイズはA4用紙)小箱の展開図を印刷するソフトです。小箱の種類によっては、サイズ制限が一部あります。

小物入れや、ペンケース、ポケットティッシュケース、プレゼント用装飾箱、サイコロ等が作成できます。

### 小箱展開図作成 Ver3.6 の特徴

- ▶ 1mm 単位で自由なサイズの小箱の展開図を作成。  
展開図は、最大 A4 用紙サイズまでの大きさです。
- ▶ 色を選択して小箱の表面を着色  
グラデーション色で小箱の表面を着色  
81種類+オリジナル(1)のパターンで小箱を表装 パターンは拡張、左回転可能  
(ハッチパターン41種類、日本伝統模様28種類、その他12種類)  
任意の画像(絵や写真)で小箱の表面を表装  
反対面のデザインをボタン1つで同一に設定
- ▶ 1面に2種類の色付文字を小箱の表面に描画  
グラデーション色の文字を小箱の表面に描画  
縁付文字を小箱の表面に描画  
影付文字を小箱の表面に描画
- ▶ 小箱の種類は、10 種類  
普通箱、スリーブ箱、蓋被せ箱、屋根付箱、六角箱、分割箱、底組普通箱、  
底組分割箱、ワンタッチ底普通箱、側面差込普通箱
- ▶ サイズテンプレート(箱サイズ・箱種類登録)で、リストの編集、追加が可能
- ▶ 設定ツールパネルの左右移動、ドラッグして自由移動、タブ形式の設定項目
- ▶ 箱の底面以外の面に17種類の窓穴を設定できます。  
角穴、角丸角穴、長穴、丸穴、菱形穴、星形穴、ハート形穴、多角形穴(3～12)

Ver3.6以降：展開図保存ファイルの拡張子名変更[nbx]→[sbx]

旧(Ver3.2[box])以前の保存ファイルを読み込みできません。

「旧データ開く」でVer3.3～3.5[nbx]は、読み込めます。



## 〈項目〉 1/2

### 1) インストール&アンインストール

- ▣インストール
- ▣アンインストール

### 2) ソフトの使用方法

- ▣操作画面の説明
- ▣メニュー

1. ファイル
  - 1-1. 新規作成
  - 1-2. 開く/旧データ開く
  - 1-3. 保存
  - 1-4. 印刷プレビュー
  - 1-5. 印刷
  - 1-6. 終了
2. 表示
  - 2-1. グリッド表示
  - 2-2. 設定ツール表示
3. 印刷
  - 3-1. A4サイズ用紙方向
  - 3-2. 左の余白
  - 3-3. 上の余白
4. ヘルプ
  - 4-1. 取扱説明書
  - 4-2. 工作説明書
  - 4-3. バージョン情報

- ▣設定ツール

1. 箱の種類
  - 1-1. 普通箱
  - 1-2. スリーブ箱
  - 1-3. 蓋被せ箱
  - 1-4. 屋根付箱
  - 1-5. 六角箱
  - 1-6. 分割箱
  - 1-7. 底組普通箱
  - 1-8. 底組分割箱
  - 1-9. ワンタッチ底普通箱
  - 1-10. 側面差込普通箱

## 〈項目〉 2/2

- ▣設定ツール

2. 箱サイズ
  - 2-1. 寸法について
  - 2-2. サイズテンプレート
3. 表装色
  - 3-1. 単一色塗り
  - 3-2. パターン塗り
  - 3-3. グラデーション塗り
4. 面の選択
5. 画像
  - 5-1. 画像読込
  - 5-2. 画像回転
  - 5-3. 画像移動
6. 文字入力
  - 6-1. 文字入力
  - 6-2. 縁付文字
  - 6-3. 影付文字
  - 6-4. グラデーション文字
7. 文字配置
  - 7-1. 文字回転
  - 7-2. 文字移動
8. 窓穴開口
  - 8-1. 窓穴選択
  - 8-2. 窓穴移動
  - 8-3. 窓穴寸法設定

### 3) 作者からのお願い&注意事項

## 1) インストール&アンインストール

### ■インストール

ソフトを使用するには「DDBox.zip」を右クリックして、「すべてを展開」をクリックします。手順に従って操作し、「DDBox」フォルダー内の「DDBox.exe」をダブルクリックしてください。「DDBox」フォルダー内のファイルを移動したり、削除しないで下さい。

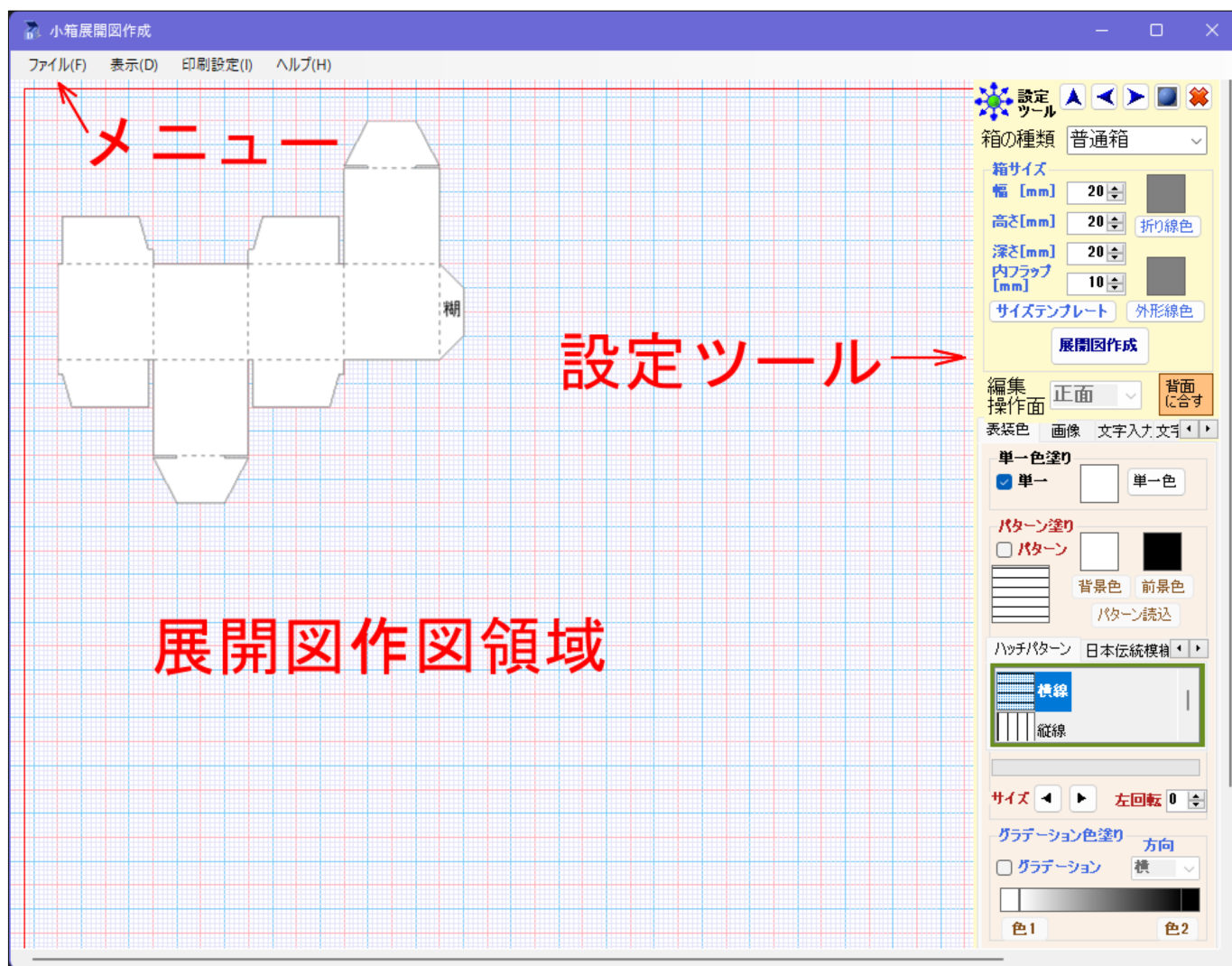
### ■アンインストール(パソコンからソフトを完全削除)

ソフトをアンインストールするには、「DDBox.zip」「DDBox」フォルダーを削除してください。

## 2) ソフトの使用方法

### ■操作画面の説明

「DDBox」フォルダー内の「DDBox.exe」をダブルクリックすると、下記画面が表示されます。



- 最初に展開図作図領域に描かれている展開図は、幅20mm×高さ20mm×深さ20mmのサイズの普通箱です。
- 画面上の「メニュー」は、デザインした箱のデーターを保存したり、印刷する設定があります。
- 画面右の「設定ツール」のパネルは、箱の設定を変更する数値入力や作成ボタンなどがあります。
- 画面右下は、箱の各面の表装色や、文字入力を設定します。
- 設定ツール最上部の「設定ツール移動ボタン」は、設定ツールを一時的に隠したり、左に移動したりします。また、左上をクリックしながらドラッグすると自由に移動できます。

## メニュー

### 1. ファイル

#### 1-1. 新規作成

各設定をソフト起動時の状態に初期化します。  
最初からやり直したい時に便利です。

#### 1-2. 開く (読込んでから表示まで数秒掛かる場合があります)

保存した小箱の展開図データを読み込みます。  
拡張子は、「.sbx」です。

旧 (Ver3.5) 以前で保存した展開図「.nbx」を読み込むには

「旧データ開く」をクリックしてください。Ver3.2以前の[.box]は、読み込めません。

#### 1-3. 保存

現在の小箱の展開図データを名前を付けて保存します。拡張子は、「.sbx」です。

#### 1-4. 印刷プレビュー

全体図表示左横のバーを上下すると、拡大縮小して見れます。

プリンター設定内容は、現在の設定を表示しています。印刷部数は、変更できます。  
その他詳細設定は、「印刷」画面表示のプロパティ (下記参照) から設定してください。








#### 1-5. 印刷

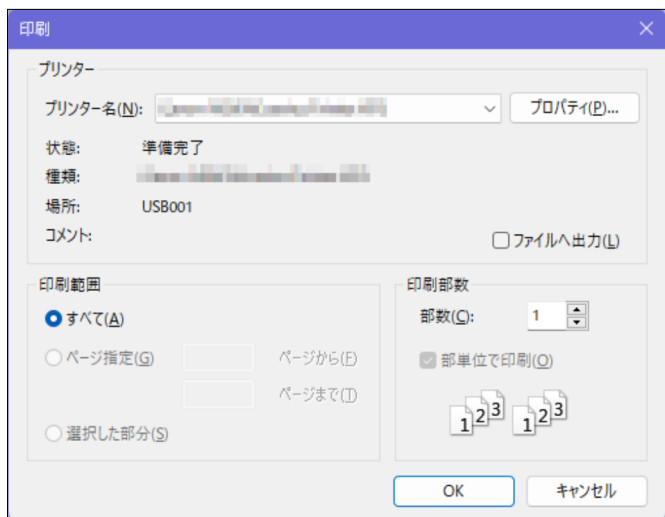
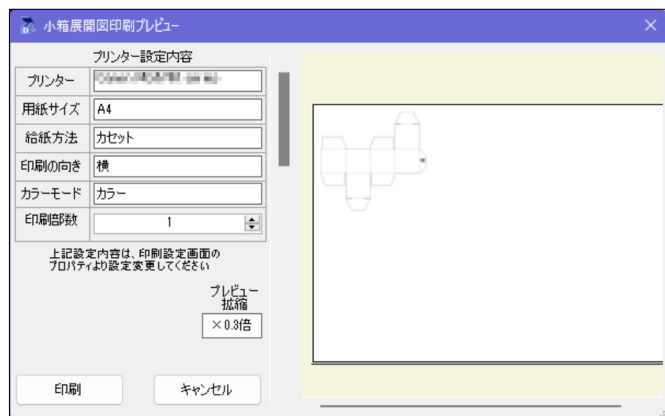
小箱展開図を印刷します。

印刷品質等各種設定は、プロパティボタンをクリックして、プリンター設定してください。

#### 1-6. 終了

「小箱展開図作成」ソフトを終了します。  
データを保存していない場合、保存の要求が表示されます。

ファイル(F)	表示(D)	印刷設定(I)
	新規作成(N)	Ctrl+N
	開く(O)	Ctrl+O
	旧データ開く(D)	Ctrl+D
	保存(S)	Ctrl+S
	印刷プレビュー(V)	Ctrl+V
	印刷(P)	Ctrl+P
	終了(E)	Ctrl+E



## 2. 表示

### 2-1. グリッド表示

「グリッド表示」をクリックし、チェックマーク消すと  
展開図表示領域のグリッドを表示しません。

グリッドを表示する場合は、クリックしてチェックマークを  
付けてください。

赤線：10mm単位毎、青線：5mm単位毎、グレー線：1mm毎にグリッド線が表示されます。

### 2-2. 設定ツール表示

「設定ツール表示」をクリックし、チェックマークを消すと設定ツールを表示しません。  
設定ツールを表示する場合は、クリックして、チェックマークを付けてください。

表示(D)	印刷設定(I)	ヘルプ(H)
<input checked="" type="checkbox"/>	グリッド表示(G)	Ctrl+G
<input checked="" type="checkbox"/>	設定ツール表示(T)	Ctrl+T

### 3. 印刷設定

赤枠の最大印刷可能領域から展開図がはみ出ないように箱のサイズを設定してください。

#### 3-1. A4サイズ用紙方向

印刷時の用紙の方向を設定します。最初は、「横」の設定に

なっています。側面差込普通箱は、縦に設定した方が大きい箱サイズにできます。

「縦」をクリックし、チェックマークが付くと、印刷時の用紙の方向は縦に設定されます。

「横」をクリックし、チェックマークが付くと、印刷時の用紙の方向は横に設定されます。

#### 3-2. 左の余白

展開図を用紙に印刷する時の左余白を設定します。

最初は5mmの設定になっています。

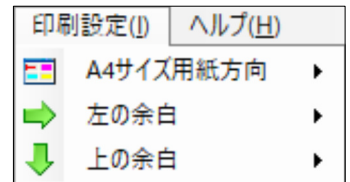
入力ボックスの値を変えると、その余白になります。

#### 3-3. 上の余白

展開図を用紙に印刷する時の上余白を設定します。

最初は5mmの設定になっています。

入力ボックスの値を変えると、その余白になります



### 4. ヘルプ

#### 4-1. 取扱説明書

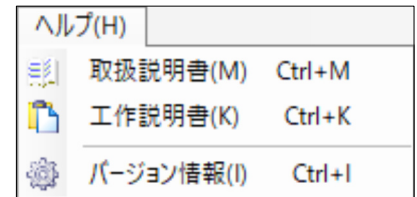
このPDF説明書を表示します。

#### 4-2. 工作説明書

展開図から箱に工作するPDF説明書を表示します。

#### 4-3. バージョン情報

このソフトのバージョン情報を表示します。



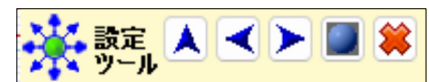
#### ▲ ■ 設定ツール

◀ ボタン 設定ツールが上に縮まる

▶ ボタン 設定ツールが左端に移動、左に縮まる。

● ボタン 設定ツールが右端に移動、右に縮まる。


✖ ボタン 設定ツールが固定される (縮まらない) 起動時設定



ボタン 設定ツール非表示 メニューの「表示」の「設定ツール表示」をクリックして、チェックマークを付けると設定ツールを表示できます。

▼ 設定ツールが縮まれば、展開図全体を見れます。

▼ 設定ツールの端 (黄色い帯) にマウスのカーソルを乗せれば設定ツールが展開されます。カーソルを離し、しばらくすると縮まります。

「設定ツール」の左上  をクリックしながらドラッグすると、自由な位置に移動できます。

### 1. 箱の種類

設定ツール右上の「箱の種類」の「▼」をクリックし、下記の箱の種類を選択します。

#### 1-1. 普通箱

普通の箱です。(ソフト起動時の設定)

#### 1-2. スリーブ箱

マッチ箱の様に、中箱を指で押し出して開く箱です。 [次頁写真参照](#)



### 1-3. 蓋被せ箱

蓋を被せる箱です。硯箱のようにセット物を入れるのに適しています。

### 1-4. 屋根付箱

三角屋根の付いた家形の箱です。屋根の片側が蓋になっています。

### 1-5. 六角箱

六角形の箱は、筒状の物やペンの様に細い物を入れるのに適しています。

内径[mm]は、辺に接する円の直径です。

### 1-6. 分割箱

箱の上部が分割して開く箱です。細長い物、スティック(棒状)を入れるのに適しています。高さ35mm以上にしてください。

### 1-7. 底組普通箱

底の部分を縦横に折り込んで組み合わせ、底を閉じた普通箱です。

### 1-8. 底組分割箱

底の部分を縦横に折り込んで組み合わせ、底を閉じた分割箱です。高さ35mm以上要

### 1-9. ワンタッチ底普通箱

潰した箱を膨らませると底が組みあがる普通箱です。深さ20mm以上要

### 1-10. 側面差込普通箱

糊付不要・組み立てるだけで完成する箱です。蓋の突起を側面に差し込みます。

深さ20mm以上要

1-6

1-7

1-9

1-10



1-1

1-2

1-3

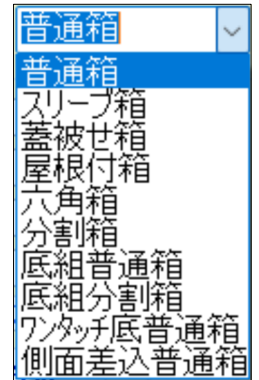
1-4

1-5

## 2. 箱サイズ

### 2-1. 寸法について

- 「小箱サイズ」の各入力ボックスに、箱の幅、高さ、深さ、内フラップ(単位mm)を入力します。
- 数字をマウスでクリックしてからキー入力するか、右のアップダウンボタンをマウスでクリックして数字を変更して入力します。
- 最小の小箱サイズは幅15mm、高さ15mm、深さ5mmです。内フラップは、箱側面から内側に曲げる部分です。入力ボックスの最大値は、幅150mm、高さ250mm、深さ150mmです。箱の種類によって最小サイズが異なります。
- 尚、全ての最大サイズでは、展開図がA4用紙に収まりません。
- 組底普通箱、組底分割箱の深さは、15mm以上にしてください。
- 入力が終了したら「展開図作成」ボタンをクリックします。外形線色、折り線色(色設定)最初は、グレーです。黒にすると、切り目や折り目が汚くなります。



## 2-2. サイズテンプレート

- サイズテンプレートの行を選択することで、CDやフロッピーディスク等の箱サイズを簡単に設定できます。「サイズテンプレート」ボタンをクリックします。右記の画面が表示されます。
- 「名前」の中から作りたい箱の行をクリックし、「決定」ボタンをクリックします。「展開図作成」ボタンをクリックします。
- サイズテンプレートの値や箱の種類を変更するには、「▼追加編集を表示」ボタンをクリックします。
- リスト内の編集したい行をクリックします。下に表示された値を変更します。
- 「編集」ボタンをクリックします。
- 名前を変更した場合は、「編集」ボタンで変更できません。「追加」ボタンをクリックしてください。
- サイズテンプレートのリストをソフトインストール時の値に戻したい場合は、「初期化」ボタンを押します。但し、ユーザーが追加したデータは、消えてしまいます。



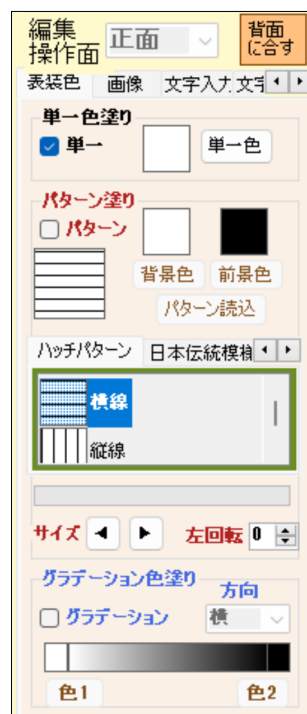
## 3. 表装色（全面共通）

### 3-1. 単一色塗り

- ソフト起動時の表装色は、白色です。
- 「単一色塗り」の「色設定」ボタンをマウスでクリックします。「色の設定」（次頁記載）が表示されます。「色の設定」の各色パネルをクリックします。好きな色を選択して、「OK」をクリックします。「展開図作成」ボタンをクリックします。

### 3-2. パターン塗り

- 81種類のパターン（縦線や網目等）+自作1種類で箱に模様を着けます。「パターン」をクリックしてチェックマークを付けます。
- ハッチパターン、日本伝統模様、その他の3種類に分かれています。「その他」は、▶をクリックすると現れます。パターン名をクリックします。上部にそのパターンが表示されます。
- パターンの色は、「背景色設定」と「前景色設定」のボタンをクリックして「色の設定」で設定します。
- 「ユーザー設定」は、十字枠のパターンですが、他のパターンの画像を設定できます。パターンにしたい画像は32×32ドットの白黒画像にすれば、前景色と背景色でパターンが描かれます。「パターン読込」のボタンをクリックすると、「パターン画像を開く」画面が表示されます。パターンにしたい画像ファイルを選択して「OK」ボタンをクリックします。
- 「サイズ」の左右ボタンをクリックすると、パターンの拡大縮小ができます。左回転の値(0°～90°)を変更すると、パターンが左回転します。
- 「展開図作成」ボタンをクリックします。その選択画像が小箱の展開図全体にパターンとして表示されます。



### 3-3. グラデーション塗り

- 箱の展開図を2色の設定によるグラデーション色で塗ります。
- 「グラデーション」をクリックして、チェックマークを付けます。
- 「色1設定」「色2設定」の左右の色パネルをクリックすると下記「色の設定」が表示されます。好きな色を選択して、「OK」をクリックします。  
右の「◀」を上下すると、縦バーのその色が選択できます。
- 真中のパネルに、そのグラデーション色が表示されます。「展開図作成」ボタンをクリックします。
- 右上の「方向」で、Vをクリックして、グラデーション色の方向を選択します。
- 「縦」は上から下へのグラデーション、「斜左上」は左上から右下へのグラデーションです。「斜左上」は右上から左下へのグラデーションです。  
初期設定は「横」で、左から右へのグラデーションです。  
展開図は、箱を組んだ時、グラデーションが合うように設定と違う方向に描かれます。



### 4. 編集操作面の選択

- 画像や文字を箱の展開図に入力・設定する場合、どの面に入力設定するのかを選択します。
- 「画像」又は、「文字入力」のタブをクリックします。
- 「編集操作面」の右側「▼」をクリックして、編集面を選択してください。正面、背面、左側面、右側面、上面、下面から選択します。
- 右端の「○○面に合す」ボタンをクリックすると反対面と表装を同一に合せることができます。

### 5. 画像

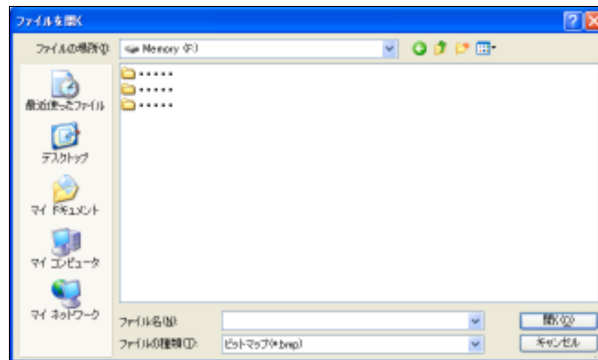
- 「画像」のタブをクリックします。
- 「画像描画取消」をクリックし、チェックマークを外します。
- 面の画像貼付を取り消したい場合は、「画像描画取消」をクリックし、チェックマークを付けます。





## 5-1. 画像読み込み

- 画像を付けたい面を「編集面」の右の「V」をクリックして、選択します。「画像読込」ボタンをクリックします。
- 「ファイルを開く」画面(下記)が表示されます。
- 「ファイルの種類」から画像を選択します。
- 使用できる画像の種類はBMP、JPEG、GIF、PNG、TIFF、WMF、EMFです。目的のファイルを選択して、「開く」ボタンをクリックします。
- 画像イメージに目的のファイルの画像が描かれます。
- 「展開図作成」ボタンをクリックします。
- 小箱の展開図の現在選択されている面に、目的のファイルの画像が描かれます。
- ソフト起動時は、小箱の現在選択されている面いっばいに画像を描く「ストレッチ」にチェックマークが付いています。
- 元画像の縦横の比率を重視したい場合は、「比率固定」をクリックしてください。



## 5-2. 画像回転

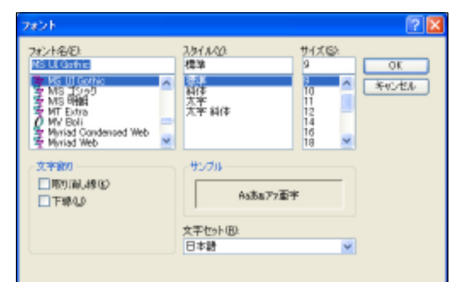
- 画像を回転させる時には「画像回転」の回転したい方向矢印をクリックします。
- 「普通」→回転なし、「左向」→左90°回転、「右向」→右90°回転、「下向」→180°回転
- 「展開図作成」ボタンをクリックします。

## 5-3. 画像移動

- 画像を面の各辺に移動する場合は、「画像移動」の移動したい方向の矢印をクリックします。
- 通常は画像を面の中心に貼り付けます。「比率固定」時、上下又は、左右に空白ができます。
- 空白の方向（上下左右）に画像を移動して貼り付けたい場合は、矢印ボタンをクリックします。
- 例えば、面の中心ではなく上に移動したい場合は、上の矢印ボタンをクリックします。
- 「展開図作成」ボタンをクリックします。

## 6. 文字入力

- 小箱の展開図の各面それぞれに単色文字、グラデーション色文字、影付文字、縁付文字が設定できます。
- 単色、影付、縁付の複合、グラデーション色、影付、縁付の複合でも設定できます。
- 面の文字描画を取り消したい場合は、「文字描画取消」をクリックし、チェックマークを付けます。再び、文字描画したい場合は、「文字描画取消」をクリックしチェックマークを外します。
- 「フォント設定」ボタンを押して文字の種類、大きさや色を設定します。通常は、「MS UI Gothic」の9ポイントです。



## 6-1. 文字入力

- 「文字入力欄」に描きたい文字を入力します。タイトル文、本文の2種類が有り、それぞれフォントを違わせれます。
- 「展開図作成」ボタンをクリックすると、描画されます。

## 6-2. 縁付文字

- 「縁付」をクリックして、チェックマークを付けます。
- 「色設定」をクリックして、縁色を決定します。
- 「展開図作成」ボタンをクリックすると、描画されます。

## 6-3. 影付文字

- 「影付」をクリックして、チェックマークを付けます。
- 「色設定」をクリックして影色を決定します。影位置「0」では影がつきません。0.5以上に設定してください。
- 「展開図作成」ボタンをクリックすると、描画されます。

## 6-4. グラデーション文字

- 「グラデーション塗り」をクリックして、チェックマークを付けます。
- 「色1設定」ボタンをクリックして、左の色を決定します。
- 「色2設定」ボタンをクリックして、右の色を決定します。
- 「方向」の下「▼」をクリックして、グラデーションの方向を設定します。  
「横」：左から右へグラデーション「縦」：上から下へグラデーション  
「斜左上」：左上から右下へグラデーション「斜右上」：右上から左下へグラデーション



## 7. 文字配置

- 文字を回転させて描画できます。
- 文字を0.5mmずつ上下左右に移動して、位置調節できます。

### 7-1. 文字回転

- 画像を回転させる時には「画像回転」の回転したい方向矢印をクリックします。
- 「普通」→回転なし、「左向」→左90°回転、「右向」→右90°回転、「下向」→180°回転
- 「展開図作成」ボタンをクリックします。

### 7-2. 文字移動

- 文字を面の各辺に移動する場合は「文字移動」の移動したい方向の矢印ボタンをクリックします。
- 通常は文字を面の中心に貼り付けます。
- 例えば、面中心ではなく上に移動したい場合は、上の矢印ボタンをクリックします。
- 文字位置を微動したい場合は「文字移動」の入力ボックス(左右方向、上下方向)の値の右の「▲」「▼」をクリックして、変更します。-20mm～+20mmの範囲で0.5mm毎に移動します。
- 「展開図作成」ボタンをクリックします。



## 8. 窓穴開口

箱の底面以外の面に17種類の窓穴を設定できます。中身をディスプレイしたり、中身を取り出す時(箱ティッシュ等)に利用します。

### 8-1. 窓穴選択

- 「文字配置」の右側の「▶」→をクリックして「窓穴開口」タブをクリックします。
- 「編集操作面」を選択して「窓穴開口取消」のチェックマークを外します。開きたい窓の形をクリックし、値を入力します。
- 「展開図作成」ボタンをクリックすると、その面に窓穴が描かれます。
- 最大の窓穴サイズは各面の端から5mm内側に入った大きさです。  
入力した値が大きい場合、強制的に数値が変更されます。

### 8-2. 窓穴移動

- 「窓穴移動」矢印をクリックすると、面の端から5mmの位置に移動します。

### 8-3. 窓穴寸法設定

#### ■角穴の値入力

「角丸■●窓穴」をクリックして、青丸を付けます。  
箱のサイズを考慮して、「幅」「高さ」の値を入力します。

#### ■角丸角穴の値入力

上記の他に角の丸みの「半径」の値を入力します。

#### ■長穴の値入力

上記の幅(又は高さ)の半分の値を「半径」に入力します。

#### ■丸穴の値入力

上記の「幅、高さ」の値を丸穴の直径の値として入力します。  
「半径」に丸穴の半径を入力します。

#### ■菱形穴の値入力

「菱形窓穴」をクリックして、青丸を付けます。  
箱のサイズを考慮して、「幅」「高さ」の値を入力します。

#### ■星形窓穴の値入力

「★形窓穴」をクリックして、青丸を付けます。  
箱のサイズを考慮して、「半径」の値を入力します。

#### ■ハート形窓穴の値入力

「♡形窓穴」をクリックして、青丸を付けます。  
箱のサイズを考慮して、「半径」の値を入力します。

#### ■正多角形窓穴の値入力

「正多角形」をクリックして、青丸を付けます。  
箱のサイズを考慮して、「半径」の値を入力します。  
何角形かにより、「辺の数」を入力します。  
辺の数は、3～12から選べます。

- システム上、窓穴の中に、線等が表示されることがあります

展開図を曲げて工作する前に、窓穴の裏から透明フィルムを接着される事をお勧めします。



## 9. 作者からのお願い&注意事項

機能追加により、バージョン番号Ver3.3～3.5で保存したデータは、メニューの「旧データ開く」をクリックして拡張子「.nbx」を読込んでください。表示に数秒掛かります。編集後、メニューの「保存」で拡張子「.sbx」として保存してください。次回からはメニューの「開く」で拡張子「.sbx」のファイルを読み込みます。

### 作成した小箱の取り扱いについて

- 重量物は、入れないで下さい。  
底が抜けて、中身が破損する可能性があります。
- 飲食物は、直接入れないでください。  
衛生上良くありません。
- 精密機器(部品も含む)を入れないで下さい。  
落としたり、衝撃を与えると故障や破損します。
- 引火物や危険物を入れないでください。

- このソフトは、フリーソフトウェアです。
- 著作権は、私(HotCakeSoft)にあります。
- コピーは自由ですが、大量配布や雑誌での配布の場合、私の許可が必要です。
- 改変や一部のコピーをしないでください。
- このソフトウェアをパーソナルコンピューターへのインストールやその後、使用することによって生じるいかなる損害、障害、事故に対して私は、責任を負いません。

Copyright © 2023/9

著作者：HotCakeSoft

Ver3.5 ワンタッチ底普通箱、側面差込普通箱を追加 10種類の箱になりました。

グラデーション塗り：面ごとに塗り方向変更(不具合修正)

斜め右上からのグラデーション追加

取扱説明書を刷新

ソフト名変更 DDBox→小箱展開図作成

不具合修正

Ver3.6 パターンの種類分け、(ハッチパターン、日本伝統模様、その他)

パターンの拡大縮小、左回転が可能、パターンの整形、整理

データ保存のファイル拡張子変更[.nbx]→[.sbx]

不具合修正

Ver3.6.0.2 フォント読み込み不具合修正